SDGｓの取り組みについて

SDGs（エスディージーズ：Sustainable Development Goals　持続可能な開発目標）とは、2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

弊社での取り組みについて

弊社は、日本児童養護施設財団が行う活動を通じて、全国の児童養護施設を卒園する子ども達の支援活動をしております。SDGs の 17 の目標のうち 1、4、10、16、17 の項目に該当し、2030 年の目標達成に向けて推進していきます。

児童養護施設

身体的、性的、精神的な暴力、ネグレクト (育児放棄)、孤児や経済的な理由で、児童養護施設で生活している子ども達が全国で約３万人もいます。

入所対象者について

1 歳以上 18 歳未満の幼児（満 1 歳から、小学校就学の始期に達するまでの者）及び少年（小学校就学の始期から、満 18 歳に達するまでの者）が対象となります。場合によっては 20 歳まで延長もできます。乳児（1 歳未満の者）は乳児院への入所となります。

子どもたちの入所背景について

主に、親からの虐待、育児放棄、経済的な理由、孤児、何かしらの理由により入所しております。

子どもたちの生活について

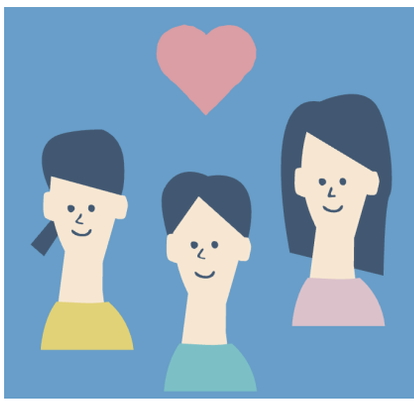
児童養護施設は、４つの形態で大きく分けており、大舎制 (1 舎に 20 名以上) のもの、中舎制 (1 舎に 13 人～19 人) のもの、小舎制 (1 舎に 12 人) のもの、またグルーホームがあります。

退所後の生活について

高校を卒業すると同時に児童養護施設を出なければなりません。そんな彼らに待ち受けるものは社会の壁です。保証人の問題、進学、就職、賃貸住宅の契約、敷金等の捻出など解決されていない問題が山ほどあります。現実社会と向き合うために夢などという言葉を口にしなくなります。また支えてくれる大人がいない児童は、悪い大人が近づき身体を売ったり、犯罪に走ったり、精神疾患になり自殺をしたり、ホームレスになることが多いのです。

支援形態

弊社が支援している「児童養護施設を卒園する子ども達を支える」事業をご紹介



これから卒園する子どもたちに寄付をあつめたい

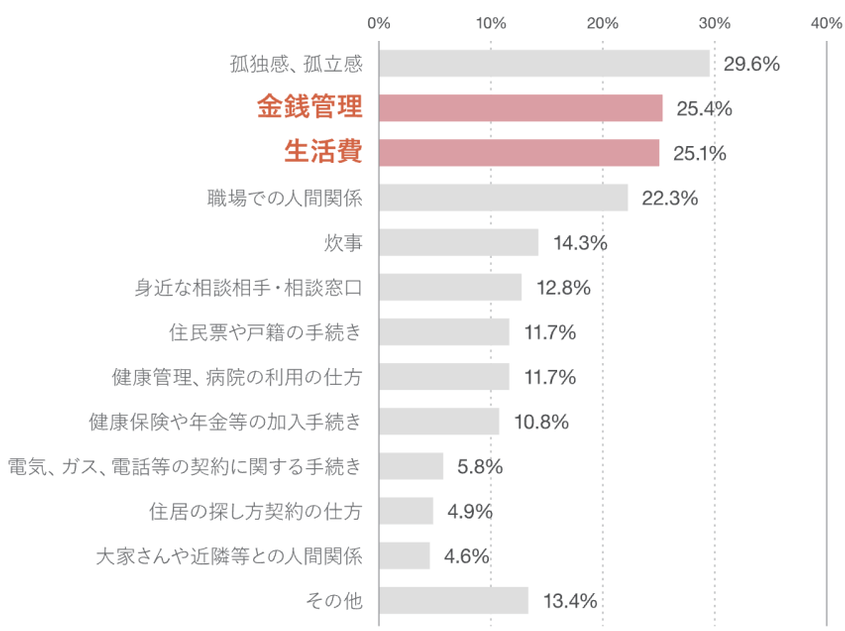
私達職員の願いは、これから卒園する子ども達に目を向けてほしいということです。
卒園した子どもたちは社会に揉まれ劣悪な環境下に置かれている子が多いのです。

その中で、懸命に未来を信じ生きております。
そんな子どもたちにどうか寄付をお願いします。

退所児童を対象としたアンケート調査

児童養護施設退所者へのアンケート調査結果（平成23年8月30日東京都福祉保健局調査結果）

Q: 施設退所直後に「まず困ったことは」？



孤独感、孤立感が一番多くを占めてはいますが、2位と3位を合わせて47.7%と約半数近くが金銭的問題に悩まされております。昨今の超就職氷河期の中、進学を選べず、就職も出来なかった子ども達は、アルバイトなどで生計を立てています。アルバイトで生計を立てている児童は風邪を引いたり、体調を崩したからといって仕事を休んだりできないのが現状です。1カ月の収入が減れば、貯蓄を切り崩さなければならないからです。そんな切り詰めた生活の中で、精神を削り、頼れる大人がいない状況下の中で、上手い話や誘惑に誘われ、夜の世界などに身を投じ、孤独に耐えかね自殺をする退所児童も多く存在しています。
私達は少しでも多くの退所児童と接し、アフターケア事業の一つとして生活費や退所後のケアを行っていきたいと真剣に考えております。

▲「全国児童養護施設総合寄付サイト」サイト参照

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

手厚く保護されている環境から、社会へ出ることはとても至難なこと。
卒園する子どもは失敗ができない環境下におかれている

約 60~70 万円

社会への旅立ちまでに用意できる資金
（子ども、地域、施設によって異なる）

［在園中に集まる金額］

1 高校に通いながらアルバイトをして貯蓄　約20～30万円
2 自治体からの自立支援金　約20～30万円（地域、施設によって異なる）
3 子ども手当（施設によって使い方が異なる）
4 支援団体からの援助　約1～5万円程度（地域、施設によって異なる）

約 50~60 万円

初期の一人暮らしにかかる費用

1 家賃（敷金、礼金、仲介手数料）　約30万円
2 食費　約3～4万円
3 水道、光熱費　8～9千円
4 生活費（電化製品、家具、衣類）　約18～19万円

以上のことから失敗できない環境下に児童が置かれていることが分かります。
金銭面で頼ることができる大人、肉親が居なければ、とても大変なのです

集まった寄付金で、こんな社会問題を改善

近くに支えてくれる大人の手があったら

毎年、児童養護施設を卒園する子どもたちの平均人数は、3.5名です。

私たち職員は、子どもたちに失敗を経験させてあげたくはありません。
その理由は、これ以上、辛い思いをさせたくない、
社会の悪い大人たちに大切な子どもたちを利用されたくないからです

夜の世界	男女 約30～40%	ホームレス	男女 約10～20%
犯罪者	男女 約30～40%	精神疾患	男女 約20～30%
反社会的勢力	男性 約10%		

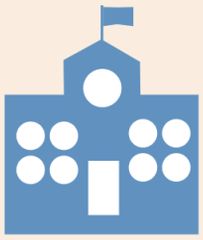
平成24年度NPO法人CAS-JAPAN調査

地域の子どもたちを地域の大人が守ると…

新たな道を歩める

地域の大人から定期的に、ご支援があれば、地域の児童養護施設の環境は、確実に変化します。子どもたちが、生きることに自信がもて、夢や希望を叶えることが可能となります。
また地域のことを考えるこどもたちが増えてきます。

▲「全国児童養護施設総合寄付サイト」サイト参照



全国にある児童養護施設数 **607** 施設

（2019 年 11 月現在）

年齢 2 歳〜18 歳

入所している子どもたちの人数　約 **32,605** 人

（2019 年 11 月現在）

毎年施設を卒園する子どもたちの人数　約 **2126** 人

（2019 年 11 月現在）

現場職員がサポートしたい所

弊社は現場職員がサポートをしてほしい、毎年卒園する子ども達に対して支援活動を行なっています。

フロー

弊社

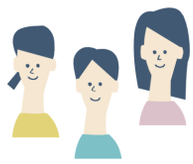
CSR・SDGｓの一環として支援をします

全国児童養護施設総合寄付サイト運営事務局

必要な児童養護施設に振り分けをします

児童養護施設巣立ち基金担当窓口

責任を持って現場職員が卒園する子どもに渡します



卒園する子ども

家賃分、生活費として活用されます

▲「全国児童養護施設総合寄付サイト」サイト参照

SDGs へのゴールとターゲットについて

ターゲット：1.2

2030 年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。

ターゲット：4.3

2030 年までに、全ての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。

ターゲット：4.4

2030 年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

ターゲット：10.2

2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

ターゲット：16.2

子供に対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。

ターゲット：17.17

さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。